

平成28年度ホタテガイ採苗通報(第6報)

平成28年5月18日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-41-0652 FAX:0226-41-0743
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp
 HP: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook: https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
 県漁協各支部青年部・研究会

県北中部全域(唐桑～女川)で採苗袋の投入時期です。
特に、北部海域では大型浮遊幼生、稚貝付着とも多い状況です。

《調査結果の概要》 調査日:5月16～18日

○北部海域(唐桑～歌津)

- ・ 調査点の表層水温は12.2～14.1℃、10m水温は11.0～11.8℃で、先週より表層で1.6～3.5℃上昇、10m層で1.0℃上昇しました。
- ・ ホタテガイ浮遊幼生数(10m曳)は、只越(唐桑)で中小型(250ミクロン未満)109個(前回66個)、大型(250ミクロン以上)14個(前回27個)、気仙沼湾口部の岩井崎で中小型31個(前回136個)、大型10個(前回26個)、大島の大前見で中小型52個(前回31個)、大型5個(前回6個)、唐島で中小型55個(前回18個)、大型20個(前回1個)、蔵内(本吉)で中小型139個(前回148個)、大型43個(前回14個)、泊浜(歌津)で中小型149個(前回408個)、大型80個(前回110個)と、浮遊幼生の多い状況が続いています。
- ・ また、試験採苗器(概ね一週間設置)には、只越10m層で430個(前回408個)、只越20m層で680個(前回361個)、岩井崎で757個(前回312個)、蔵内で3,528個(前回116個)、泊浜で4,504個(前回259個)と、先週に続き多くの稚貝が付着しており、特に蔵内～泊浜で大きく増加しました。

○中部海域(北上～女川)

- ・ 調査点の表層水温は14.0～16.0℃、ホタテガイ浮遊幼生数は十三浜(北上)で中小型16個、大型4個、出島(女川)で大型15個となっており、出島の試験採苗器には560個の稚貝が付着しました。

表 浮遊幼生調査結果

調査点 調査月日	水温(℃) 表層/10m	採取方法 (プランクトンネット)	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m ³		その他(ムサキガイ等)	ホタテガイ付着稚貝数
			250ミクロン未満 (小型～中型)	250ミクロン以上 (大型)	幼生数 個体/m ³	個体/袋 (投入日-回収日)
北部海域(唐桑～歌津)						
只越(唐桑) 5/16	13.0/11.8	10m曳	109	14	276	430 (5/9-5/16)
		20m曳	71	10	361	680 (5/9-5/16)
岩井崎 5/16	14.1/11.4	10m曳	31	10	207	757 (5/9-5/16)
大前見(大島) 5/16	12.7/11.1	10m曳	52	5	87	
唐島(大島) 5/16	12.7/11.2	10m曳	55	20	274	
蔵内(本吉) 5/17	13.8/11.2	10m曳	139	43	995	3,528 (5/6-5/17)
泊浜(歌津) 5/18	12.2/11.0	10m曳	149	80	264	4,504 (5/10-5/18)
中部海域(北上～女川)						
十三浜(北上) 5/16	16.0/-	10m曳	16	4	38	
出島(女川) 5/16	14.0/-	10m曳	-	15	60	560 (5/10-5/16)

県外情報 岩手県(5/16):大型ラーバの割合が高く、稚貝の付着も順調。

次回の通報発行は5月25日頃の予定です。